

## 「加工指示書」の考察

### カーテン研究会 5月度勉強会

東京室内装飾事業協同組合のカーテン研究会5月勉強会は、5月9日午後、組合会議室で開催された。

冒頭、羽生博明会長は、現在休止状態となっているカーテンの技能検定について、「カーテンに携わる立場は様々あるが『検定』は技術者に限られている。受検資格の幅を広げようとする『検定』としてまとめ難い」と受検者不在の技能検定の問題点を指摘した。

「カーテン施工に関する研究その3」として行われた勉強会では、「加工指示書」「縫製指示書」について考察。

加工指示書は各社で様々、インテリアコーディネーターのオリジナリティーの表現手段、指示書には絵を描いて説明すると分かり易い、指示書を見て工場が対応できるかどうかが大変、などの意見が交換された。

施工についての考察は今回が最後となり、次回以降の内容については、会員の要望等を聞き今後検討していくこととした。

東京室内装飾新聞(第610号)より引用